

# 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

（実施日：平成30年10月）

事業所名：こらぼねっと京都自立支援センター

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	5	1	0	*店舗の2Fにある為活発な運動をプログラムできない事が少々残念です *ワンフロアで全てがまかなわれているので場面切替が苦手な子どもは難しい。狭い
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	30	4	0	4	*専門性の適切についてはわかりません *各専門性が発揮される場面というのを見る機会がない
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境'になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	3	1	4	*連絡事項の掲示板の存在が小さすぎてわかりにくかった *構造化はされているが活動以外のものも視覚に入ってしまう
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	3	0	1	*室内トイレ（子供用）を開けると臭いがする *トイレの臭いが気になる *トイレの臭いが気になります
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画'が作成されているか	38	1	0	0	*フィジカルな行動面だけでなく認知などの発達面との相互関係の説明があればよりわかりやすい
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	1	0	2	*ガイドラインが手許に無い
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	5	0	2	*まだ計画に沿った支援かどうかわからない
	⑧ 活動プログラム'が固定化しないよう工夫されているか	32	4	0	3	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	5	5	17	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	0	0	0	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	37	0	0	2	*ガイドラインとの比較説明はないように思う
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	19	9	3	8	*子どもの行動の対処の仕方を教えてもらえたら助かります *ペアレント・トレーニングの意味も知らなかった ので行われているとは言いがたいです *行ってほしい
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	29	7	2	1	*もっと授業前のほんの少しの時間でいいので子どもの発達状況等聞いていただければお話ができるのでうれしいです *フィードバックをより密にして問題行動や課題の背景にあるものにもふみこんで共通理解・助言をしていただかないとなかなか本当に求める支援につながらないと思う。しかし限られた時間の中でそれを行うのは難しいとも思う
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	6	0	2	*定期的の頻度の度合いがわからない
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	4	16	*連絡先の交換などは特に必要ないと思うが自己紹介などはあってもいいかな？と感じる *一緒に活動している子の名前もきちんとしらないですどこまで交流を深めていいのかわかりません。いろいろお話しできる機会も欲しいですが個人情報などの問題もあるかと思うとなかなか積極的にお話ししにくいです *まだ受けた事がありません
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	6	0	4	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	5	0	4	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	33	0	0	6	*子どもがまだ口答の連絡を理解できない年齢なので来週の持ち物や作業内容が親に伝わらない *ぶんぶんだより
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	37	0	0	2	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
非常時等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	3	0	8	*マニュアル説明の時に受けたので理解した *定期的とはまだ言えないので
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	4	1	12	*ぶつぶんだよりに避難訓練予定日が記載されていたのであるのだなと分かった
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	33	5	1	0	*行きたくないと言う事が良くある *クッキングの時はいつもより楽しみに待っていると思う *とても楽しそうに活動していて見ていて嬉しいです *特にクッキングが好きです。毎回丁度良い作業内容だと思います
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	32	7	0	0	*とてもよくしてもらってると思う *いつも悩み事等を聞いて頂き気持ち的にも本当に助かっております。ありがとうございます *支援を求めるのがヘタなのか通所を重ねていると課題の方が大きく見えてくる。他に支援もらっているところや所属先との連携をお願いしたい。子供を中心とした複数（の支援者間どうしの連携）

(注釈)

- 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

配布数 63  
回収数 39  
有効回答率 62%